

対象	小学校高学年以上
教科	社会科・総合
該当 単元	〈小学5年〉 「私たちの生活と環境」 「環境を守る私たち」 〈中学地理〉 「世界から見た 日本の気候」
教科書	東京書籍等
掲載日	2014.6.1. 朝刊 12版 38面

かすむ東海 黄砂が飛来



黄砂の影響でかすむ名古屋市内=31日午後0時8分、名古屋市中区の名古屋テレビ塔から

東海三県で三十一日、黄砂の飛来が観測された。移動性高気圧が日本列島を覆うなどの条件がそろったため。一日も飛来が多いと予想される。専門家は梅雨入りまでは飛来する可能性があるとみている。

名古屋地方気象台によると、三十一日の見通しの利く視程は、名古屋市八〜十五キ、岐阜市八キ、津市三〜十五キだった。名古屋、津の両市は三十日に続く観測で、岐阜市は今年初めて。黄砂は春に観測されることが多いが、今年は国内で二〜四月に黄砂の飛来はなかった。

黄砂は、戈壁砂漠やタクラマカン砂漠などの砂が上昇気流で巻き上げられ、偏西風に乗って日本に運ばれてくる。愛知教育大名誉教授の大和田道雄さん（気象学）によると、今回、東海地方で観測されたのは、タクラマカン砂漠で低気圧性

の上昇気流、移動性高気圧に覆われた日本で下降気流がそれぞれ発生し、飛来する条件がそろったためだと説明する。

大和田さんは、飛来時期の遅れについて「今年は大陸に積もった雪の影響で砂が乾燥せず、舞い上がりやすい時期が遅くなったのではないか」と推察した。

問 1 : 黄砂はどこから飛んでくるのでしょうか。

(_____) や (_____) から。

問 2 : 黄砂はどのように飛んでくるのでしょうか。

(_____) の砂が、(_____) で巻き上げられ、
 (_____) に乗って運ばれて、
 (_____) におおわれた日本で、
 (_____) が発生して飛来する。

問 3 : 今年、飛んでくる時期が遅れた原因を、大和田さんの推察(すいさつ)をもとに説明しましょう。

(_____) の影響で、
 (_____) が (_____) しなかったから。

発展 : 黄砂の影響は東海地方だけなのだろうか。日本の他の地域や、中国の様子について調べてみよう。